

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業名	236	障害者福祉啓発推進事業	区分	コード	名称
基本	05	障がいのある人の自立した生活を支える	会計	01	一般会計
施策			款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	04	障害福祉費
			細目	101	障害者福祉一般事業
			細々目	10	障害者福祉啓発推進事業
基本計画該当			68	行革大綱の重点事項番号	
担当部課	コード	130200	評価者氏名	増田基生	連絡先
名称	健康福祉部 高齢障害課				22 - 9657 (内線) 2620

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)	
事業目的	一般市民	すべての市民が障がいの特性を理解し、偏見や差別のない社会を構築することで、障がいのある人が、住み慣れた地域で多くの人々と協力しながら、「自分らしい暮らし」が送ることができる。	
(※対象件数)			
根拠法令・要綱等			
開始年度	平成 16 年度	関連事業	
終了年度	平成 年度		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●12月の障害者週間に普及啓発事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 啓発物品の配布 障害者相談の実施 授産物品の展示・販売等 ●講演会の開催 ●ボランティア養成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 年9回の講座開催を予定 伊賀市社会事業協会に事業委託 	状況変化等	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
	委託	啓発物品等		165	啓発物品等		177	啓発物品等 (内容変更あり)		121	啓発物品等		200	啓発物品等		200	啓発物品等		200
	工事	委託料		320	委託料		282	委託料		320	委託料		320	委託料		320	委託料		320
	進捗率(%)	事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)		
		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
		フルコスト (A)+(B)			フルコスト (A)+(B)			フルコスト (A)+(B)			フルコスト (A)+(B)			フルコスト (A)+(B)			フルコスト (A)+(B)		
		1,925			1,899			1,881			1,960			1,960			1,960		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	485	459	441	520	520	520
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	485	459	441	520	520	520
計	485	459	441	520	520	520
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					
	03-01-04-101-10 障害者福祉啓発推進事業					

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値	
		H18	H19	H20	H21	H21
啓発事業開催数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1	1
ボランティア養成講座開催数	回	目標 9 実績 9	目標 9 実績 9	9	9	9
		目標 1 実績 1	目標 1 実績 1			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
啓発物品配布等人数		人	目標 1000 実績 1000	目標 1200 実績 1100	800	1300
ボランティア養成講座受講者数		人	目標 306 実績 306	目標 333 実績 333	340	345

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	障がいのある人に対する偏見、差別はまだ多く、市民への理解を求めていく必要がある。
有効性	4	市民への理解を求めていくためには事業の継続は必要である。
達成度	3	啓発物品配布人数等から、一定の評価はできる。
効率性	4	事業実施方法を見直す余地はあるが、コストを下げる余地は無い。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	事業実施方法を見直していく。